

2018年6月 京都支部食彩同好会行事実施報告

食彩同好会リーダー 常木良一

開催日：2018年6月26日（火） 11:50～14:00

参加者：15名

（敬称略）浅野、東、阿部、岡本、國司、小林、園田、武田、
但馬、塚本、常木、中田、中村、掘、湊谷

会費：3,000円

目的：瑞石庵で自然薯料理を食べる

<報告>

伏見稲荷大社の散策と自然薯料理を15名で食べて来ました

11時50分にJR伏見駅前の鳥居付近に集合。暑かったです。

リーダーの常木より伏見稲荷大社の概要について説明。

伏見稲荷大社は奈良時代の和銅4年(711年)2月7日の初午の日に伊呂具秦公が勅命を受けて三柱の神を伊奈利山の三ヶ峰の平らな処に稲荷神を祀ったのが始まりです。

伏見稲荷大社は5神を祀っているが主祭神は宇迦之御魂大神うかのみたまのおかみです。

重要文化財の「楼門」、「外拝殿」、「本殿」を20分程で見て廻りました。

特に本殿では5神がどの位置に祀られているかの説明とひらがなの「へ」の字に見える「流造」屋根を見学。

千本鳥居をくぐるのは時間的に無理なので行きたい人は自由に食事の後に。

伏見稲荷大社から7～8分歩いて食事処の「瑞石庵」へ。

食事は12時半からお願いしているので丁度良い時間に着きました。

メニューはオーナーお奨めの自然薯料理「瑞石御膳」。



瑞石庵



瑞石御膳

自然薯は代表的な健康食品で瑞石庵では宮崎産の自然薯を使っており、十五穀米のお米は滋賀県産のコシヒカリ、野菜は山城加茂産など無添加・国産にこだわっています。

自然薯とろろはお代わり自由でした。



食後お店の前で集合写真を撮りました。



店のオーナーから食彩同好会を開いた当日18時過ぎに読売テレビの「ten」で店が紹介されるので、出来たら見て下さいとの事でした。テレビを見て「今日ここの店に行って食事をしてきた」と家族に話された方もおられました。美味しくて良かったとの感想が多かったですが、テレビで紹介されたメニューの方が良かったとの電話もいただきました。